

本調査は、文部科学省による委託事業「幼児教育の改善・充実調査研究」として、ベネッセ次世代育成研究所が行うものです。

「認定こども園における研修についての調査」へのご協力をお願い

拝啓 秋冷の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

私どもベネッセ次世代育成研究所は、このたび文部科学省による委託事業として表題の調査を行うことになりました。この調査は、**認定こども園における幼児教育・保育の質を高める研修のあり方を探るために、現在、認定こども園で行われている研修の実情や課題、要望等を明らかにすることを目的**としています。

この調査結果は報告書にまとめられ、文部科学省の施策の立案等の基礎資料として活用されます。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、貴園のご協力を賜れば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具
ベネッセ次世代育成研究所 部長 後藤 憲子

- ◆この調査は、平成21年4月1日現在の認定こども園全園に送付しております。調査結果は統計的に処理しますので、貴園にご迷惑をおかけすることは決してございません。また、お答えいただける範囲で結構です。
- ◆ご記入いただいた本調査用紙は、返送用封筒に入れて、**11月13日(金)までに**ご投函をお願い致します(切手は不要です)。
- ◆この調査は、園長・所長・施設長、副園長(教頭・副所長・副施設長)、主任等、貴園の状況をよくご存じの方がお答えください。
- ◆平成21年10月1日現在の状況をお答えください。

このアンケートについて、ご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
電話 03-3295-0294 【受付時間 10:00-17:00 (※土曜・日曜・祝日、12:00-13:00 は除く)】
※番号をよくお確かめのうえ、おかけください。 ※通話料がかかります。

<情報の取り扱いについて>

調査用紙にご記入いただく内容は、園が特定できない統計データとして処理致します(自由記述は、園が特定できない形で報告書等に掲載させていただきます場合があります)。また調査の結果は、学会・研修会等で紹介することがあります。なお、調査用紙に記載している番号は、調査用紙のご返却状況の確認に使用致します。上記をご確認、ご承諾いただいたうえで、ご記入ください。

<ベネッセ次世代育成研究所について> <http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/>

ベネッセ次世代育成研究所は、(株)ベネッセコーポレーションのシンクタンクとして設立された研究所です。乳幼児をもつ保護者の意識・行動や、幼稚園・保育所での活動等を調査分析した報告書を発刊しております。調査結果は幼児教育・保育施設や官公庁、教育委員会、子育て支援に関わる方々等に活用いただいています(※2009年3月に発刊した「第1回 幼児教育・保育についての基本調査(保育所編)」速報版を同封しております。お役立ただければ幸いです)。

《事務局の連絡先》 〒101-8685 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
(株)ベネッセコーポレーション ベネッセ次世代育成研究所 担当:真田(サナダ)

この調査にご回答いただいているあなたについて、おたずねします。

Q1 現在のあなたの役職について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|-----------|--------|
| 1. 園長 | 2. 所長・施設長 | 3. 理事長 |
| 4. 副園長、教頭、副所長、副施設長 | 5. 主任 | 6. その他 |

Q2 Q1で答えた役職の経験年数（認定こども園以前も含む）について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|--------------|----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 | 3. 10年以上 |
|---------|--------------|----------|

Q3 現在のあなたの年齢について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

Q4 あなたが保有している免許や資格について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------|------------|
| 1. 幼稚園教員免許 | 2. 保育士資格 | 3. 小学校教員免許 |
| 4. 中学校、高等学校教員免許 | 5. 社会福祉主事 | 6. 社会福祉士 |
| 7. その他（ | | ） |

Q5 あなたには、次にあげる職務の経験がありますか。職務経験として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|------------------|--------------|
| 1. 幼稚園教員 | 2. 保育所職員 | 3. 小学校教員 |
| 4. 中学校、高等学校教員 | 5. 大学（短大）、専門学校教員 | 6. 社会福祉施設の職員 |
| 7. 教育委員会の職員 | 8. その他の自治体職員 | |

貴園の状況について、おたずねします。

Q6 認定こども園の認定を受ける前、貴園は次にあげる1～7のどれにあてはまりましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 幼稚園と認可保育所による幼保一体化施設だった
2. 幼稚園に認可外保育所を付設していた
3. 幼稚園と認可保育所がそれぞれ別にあった（認定を機に2つの園が一体化した）
4. 幼稚園のみの施設だった
5. 保育所のみの施設だった
6. 新設のため、1～5にあてはまらない
7. その他（

Q7 貴園の設置・運営形態について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 公立 2. 私立 3. その他（公設民営等）

S Q. 「2. 私立」「3. その他（公設民営等）」を選んだかたにおたずねします。

幼稚園（機能）、保育所（機能）の運営主体について、あてはまる番号を1～9から1つずつ選んで、（ ）内に記入してください。

(1) 幼稚園（機能） () (2) 保育所（機能） ()

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 学校法人 | 2. 宗教法人 | 3. 社会福祉法人 |
| 4. 社団法人 | 5. 財団法人 | 6. 法人企業 |
| 7. NPO 法人 | 8. 個人 | 9. その他 |

Q8 貴園の設置状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 幼稚園（機能）と保育所（機能）が、同一敷地内の同一の建物にある
2. 幼稚園（機能）と保育所（機能）が、同一敷地内の別の建物にある
3. 幼稚園（機能）と保育所（機能）が、別の敷地にある

Q9 平成21年10月1日現在の貴園の園児数について、（ ）内に数字を記入してください。該当する園児がない場合は（0）人と記入してください。※園児数は、学級（クラス）編成上の年齢で記入してください。

0歳児（ ）人 1歳児（ ）人 2歳児（ ）人
3歳児（ ）人 4歳児（ ）人 5歳児（ ）人

Q10 園長・所長・施設長、副園長・教頭・副所長・副施設長、主任を除く、貴園の保育者数について、（ ）内に数字を記入してください。該当する保育者がいない場合は（0）人と記入してください。

(1) 正規雇用（契約期間の定めがない）の職員数 () 人

(2) 非正規雇用（雇用期間を設けている）の職員数 () 人

(3) (1)、(2)の職員の免許・資格の取得者数

1. 幼稚園教員免許と保育士資格の両方を取得 () 人
2. 幼稚園教員免許のみ取得 () 人
3. 保育士資格のみ取得 () 人

Q11 貴園では、正規雇用の保育者の勤務条件等を（幼稚園部門・保育所部門にかかわらず）統一していますか。

1～4のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	統一している	統一したいが、 まだ統一していない	統一しておらず、 今後も考えていない
1. 給与体系・・・	1	2	3
2. 休暇日数・・・	1	2	3
3. 勤務時間数・・・	1	2	3
4. 職員室・・・	1	2	3

SQ1. いずれか1つでも「1. 統一している」を選んだかたにおたずねします。
保育者の勤務条件等を統一している理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育者の勤労意欲が向上する
2. 保育者同士のコミュニケーションが円滑になる
3. 園長（所長・施設長）等が保育者のマネジメントをしやすいになる
4. 土曜日や長期休業中等の保育者のシフトを組みやすくなる
5. 園の事務的な負担が減る
6. 園の財政的な負担が減る
7. その他（)

SQ2. いずれか1つでも「2. 統一したいが、まだ統一していない」を選んだかたにおたずねします。
まだ統一していない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育者の理解を得ることが困難である
2. 設置者の方針による
3. 現在の仕組みを変更するための事務手続きが困難である
4. 統一後、園の事務的な負担が増えそうである
5. 統一後、園の財政的な負担が増えそうである
6. その他（)

Q12 貴園で、職員会議やミーティングを実施する頻度について、もっとも近い番号1つに○をつけてください。

1. 毎日	2. 週に数回程度	3. 月に数回程度
4. 年に数回程度	5. その他（)	
6. 実施していない		

SQ. 「1. 毎日」「2. 週に数回程度」「3. 月に数回程度」「4. 年に数回程度」「5. その他」を選んだかたにおたずねします。

(1) 職員会議やミーティングに参加する職員について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 常勤で正規雇用の保育者
2. 常勤で非正規雇用の保育者
3. 非常勤で非正規雇用の保育者
4. 調理師、栄養士、看護師等の職員
5. その他（)

(2) 職員会議やミーティングはどのような内容で行っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------------|------------|
| 1. 事務連絡 | 2. 子どもに関する情報の引き継ぎ | 3. 研修内容の共有 |
| 4. 保護者への対応の検討 | 5. 行事の打ち合わせ | |
| 6. その他 (| |) |

(3) 職員会議やミーティングは、事務連絡としての役割以外に、次にあげる1～5に対して、どの程度役に立っていますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても役に 立っている	まあ役に 立っている	あまり役に 立っていない	まったく役に 立っていない
1. 保育者間の連携・・・・・・・・・・	1	2	3	4
2. 園長等と保育者の情報共有・・・・・・・・	1	2	3	4
3. 保育者の育成・・・・・・・・・・	1	2	3	4
4. 保育者が意見を自由に語り合う風土作り・・	1	2	3	4
5. 子どもの育ちの援助・・・・・・・・	1	2	3	4

Q13 貴園では、幼稚園教諭と保育士の連携について、課題はありますか（ありました）か。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-----------------|-----------|
| 1. ある | 2. 以前はあったが、今はない | 3. 以前からない |
|-------|-----------------|-----------|

SQ. 「1. ある」「2. 以前はあったが、今はない」を選んだかたにおたずねします。

(1) 実際、どのような課題があります（ありました）か。 差し支えない範囲で、() 内になるべく具体的にお書きください。

(2) その課題が生じた背景、解決のための取り組みやその結果について、 差し支えない範囲で、() 内になるべく具体的にお書きください。

■課題が生じた背景

■解決のための取り組み

■取り組みの結果

Q14 貴園では、年間の研修計画を立てていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 立てている | 2. 立てていない |
|----------|-----------|

園外研修について、おたずねします。

Q15 保育者を園外研修（貴園が許可して保育者が受講する外部研修）に参加させることは、貴園にとってどの程度重要なことですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. とても重要なことである | 2. まあ重要なことである |
| 3. あまり重要なことではない | 4. まったく重要なことではない |

Q16 貴園の保育者が園外研修に参加する時間帯は、勤務時間内・外のどちらが多いですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 勤務時間内が多い | 2. 勤務時間外が多い |
|-------------|-------------|

SQ. 「2. 勤務時間外が多い」を選んだかたにおたずねします。

勤務時間外の研修は、超過勤務扱いにしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 超過勤務扱いにしている
2. 超過勤務扱いにしているが、必要経費（参加費、旅費等）を出している
3. 超過勤務扱いにしておらず、必要経費（参加費、旅費等）を出していない

Q17 園外研修への参加頻度について、おたずねします。

(1) 貴園の園長・所長・施設長等の管理職は、1人あたり平均してどれくらいの頻度で、園外研修に参加していますか。もっとも近い番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|----------------|
| 1. 2週間に1回程度 | 2. 月に1回程度 | 3. 2～3ヵ月に1回程度 |
| 4. 半年に1回程度 | 5. 年に1回程度 | 6. ほとんど参加していない |
| 7. その他（ | | ） |

(2) 貴園の保育者は、1人あたり平均してどれくらいの頻度で、園外研修に参加していますか。

もっとも近い番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|----------------|
| 1. 2週間に1回程度 | 2. 月に1回程度 | 3. 2～3ヵ月に1回程度 |
| 4. 半年に1回程度 | 5. 年に1回程度 | 6. ほとんど参加していない |
| 7. その他（ | | ） |

Q18 園外研修に参加する職員について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 常勤で正規雇用の保育者 | 2. 常勤で非正規雇用の保育者 |
| 3. 非常勤で非正規雇用の保育者 | 4. 調理師、栄養士、看護師等の職員 |
| 5. その他（ | ） |

Q19 園外研修の参加者は、どのようにして決まりますか。1～3について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも そう	わりと そう	あまり そうではない	まったく そうではない
1. 園長・所長・施設長等が指名して保育者が参加する・・・	1	2	3	4
2. 保育者が園長・所長・施設長等に <u>申し出て</u> 参加する・・・	1	2	3	4
3. 保育者が園長・所長・施設長等に <u>申し出ず</u> 自由に参加する・・・	1	2	3	4

Q20 保育者を園外研修に参加させる目的は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 意欲の向上のため | 2. 保育技能の向上のため |
| 3. 専門知識の強化のため | 4. 行政発信（※）の共有のため |
| 5. 園の課題を発見するため | 6. 自園の幼児教育・保育の質を高めるため |
| 7. 他園との交流や情報交換のため | 8. 幼稚園・保育所関連団体の研修であるため |
| 9. 認定こども園団体の研修であるため | |
| 10. その他（ | ） |

※4の「行政発信」とは、幼稚園教育要領、保育所保育指針の改訂（定）等も含め、文部科学省・厚生労働省・教育委員会等からの発信を指しています。

Q21 保育者を園外研修に参加させるうえで、課題はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 研修に関する情報の入手が困難である | 2. 日程の調整が困難である |
| 3. 時間の確保が困難である | 4. 代替職員の確保が困難である |
| 5. 必要経費（旅費等）の確保が困難である | 6. 研修会場が遠い |
| 7. 研修への意欲が保育者によって異なる | 8. 保育者を参加させたい研修メニューがない |
| 9. 研修の成果を実感しにくい | |
| 10. その他（ | ） |

Q22 Q21で回答した課題が解決できれば、保育者を園外研修にもっと多く参加させたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|-----------|--------------|---------------|
| 1. とてもそう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. まったくそう思わない |
|------------|-----------|--------------|---------------|

Q23 園外研修の主催者について、おたずねします。

(1) この1年間に保育者が参加した園外研修の主催者について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|-------------|
| 1. 文部科学省 | 2. 厚生労働省 | 3. 都道府県 |
| 4. 市区町村 | 5. 幼稚園関連の団体 | 6. 保育所関連の団体 |
| 7. 認定こども園の団体 | 8. 大学・短期大学等の養成機関 | 9. 企業 |
| 10. 自主的グループ | 11. その他（ | ） |

(2) (1)のうち、最も参加回数が多かったものの番号を()内にご記入ください。

()

Q24 園外研修のテーマについて、おたずねします。

(1)この1年間に保育者が参加した園外研修のテーマと園内で役に立ったテーマ、今後受けさせたいテーマについて、あてはまる欄すべてに○をつけてください。

	①この1年間で保育者が参加した園外研修のテーマ	②保育者が参加した園外研修のうち、園内で役に立ったテーマ	③今後保育者に受けさせたい園外研修のテーマ
1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針			
2. 教育課程・保育課程			
3. 指導計画			
4. 自己点検・自己評価			
5. 幼稚園幼児指導要録・保育所児童保育要録の記載や活用			
6. 認定こども園に関すること			
7. 保育者の役割や専門性			
8. 子どもの人権			
9. 子どもの健康と安全			
10. 子どもの発達理論			
11. 保育実践の記録			
12. 特別支援教育			
13. 保幼小の連携			
14. 食育			
15. 運動・遊びの実技演習			
16. <u>乳児</u> の活動と教材			
17. <u>幼児</u> の活動と教材			
18. 保護者への支援			
19. 地域との連携			
20. 非常災害時の対策			
21. 情報機器の活用			
22. その他	()	()	()

(2) 特に役に立った園外研修があれば、その研修内容と、具体的にどのように役に立ったのかを()内になるべく具体的にお書きください。

■特に役に立った研修内容

■どのように役に立ったか

Q25 保育者が園外研修に参加した後、貴園では次にあげることを行っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 職員会議等で報告する | 2. 園内研修にて報告する |
| 3. 参加者各自が報告書を提出する | 4. 保育者の研修受講履歴を残す |
| 5. 研修で受講した内容を保護者に伝達する | |
| 6. その他 () | |

Q26 保育者を園外研修に参加させた成果として、次にあげることは感じられますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 意欲が向上した | 2. 保育技能が向上した |
| 3. 専門知識が強化された | 4. 行政発信（※）を共有できた |
| 5. 園の課題を発見できた | 6. 自園の幼児教育・保育の質が高まった |
| 7. 他園との交流や情報交換ができた | |
| 8. その他 () | |

※4の「行政発信」とは、幼稚園教育要領、保育所保育指針の改訂（定）等も含め、文部科学省・厚生労働省・教育委員会等からの発信を指しています。

Q27 保育者が園外研修へ参加しやすくなるための工夫や、園外研修を園内で役立てるためにされている工夫がありましたら、() 内になるべく具体的にお書きください。

■保育者が園外研修へ参加しやすくなるための工夫

■園外研修を園内で役立てるための工夫

Q28 行政に対して、次にあげるような要望はありますか。国と、都道府県・市区町村のそれぞれに対して、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 国に対して

1. 認定こども園に特化した内容の研修を実施してほしい
2. 保育者の経験年数に応じて求められる資質や専門性について、体系化された目安を作ってほしい
3. 経験年数に応じた研修（初任者、5年目、10年目研修等）の受講をすべての保育者に義務化してほしい
4. 園で使える園外研修の手引き（参加計画の立て方、園内でのいかし方の工夫等）を作ってほしい
5. DVD やインターネットを利用する等、研修方法を多様化してほしい
6. 必要経費（旅費等）について、財政的な支援を充実してほしい
7. その他 ()

(2) 都道府県・市区町村に対して

1. 認定こども園に特化した内容の研修を実施してほしい
2. 保育者の経験年数に応じた研修メニューを充実してほしい
3. 保育者の課題や要望に応じて選べる多様な研修メニューを用意してほしい
4. 幼保公私にかかわらず、希望する保育者は地方自治体が行う研修を受講できるようにしてほしい
5. 非正規や非常勤の保育者も、希望すれば地方自治体が行う研修を受講できるようにしてほしい
6. 保育者研修にかかわる情報を一元化して、ホームページ等で公開してほしい
7. 研修内容の改善に向けて、現場と行政が協議できる場を作ってほしい
8. 現場に対して、研修内容の要望を聞くためのアンケートやヒアリングを行ってほしい
9. 地区ごとに開催する等、研修の場所を配慮してほしい
10. 土曜日や日曜日に実施してほしい
11. 保育終了後の時間に実施してほしい
12. 同じ内容の研修を複数回、実施してほしい
13. DVD やインターネットを利用する等、研修方法を多様化してほしい
14. 保育者の養成機関と連携した研修を充実してほしい
15. 管理職の登用のための研修を充実してほしい
16. 必要経費（旅費等）について、財政的な支援を充実してほしい
17. その他（)

Q29 特に認定こども園向けの研修として必要だと思うものを3つまで選んで、上位から順に 内に記入してください。

1. 0～5 歳児の発達の見通しを持てる研修
2. 乳児保育の専門性を高める研修
3. 幼児教育の専門性を高める研修
4. 教育と保育の一体的な展開のあり方や方法がわかる研修
5. 特別支援教育の専門性を高める研修
6. 短時間保育・長時間保育の子どもの生活への理解が深まる研修
7. さまざまな家庭への支援のあり方や方法がわかる研修
8. 地域との連携のあり方や方法がわかる研修
9. 幼保の保育者が、互いの仕事に対する理解が深まる研修
10. その他 ()

1 番目 2 番目 3 番目

Q30 研修の方法として、次にあげる媒体（メディア）等を活用したいと思いますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても 活用 したい	まあ 活用 したい	あまり 活用したく ない	まったく 活用したく ない	機器がない ため活用 できない
1. 文章や写真で学べる冊子等の印刷媒体・・・・・・・・	1	2	3	4	5
2. 映像で学べる DVD やビデオ (VHS)・・・・・・・・	1	2	3	4	5
3. 映像で学べるインターネット・・・・・・・・	1	2	3	4	5
4. 1 と、2・3 のいずれかのセット・・・・・・・・	1	2	3	4	5

※「機器がないため活用できない」には、「操作が難しそうのため活用できない」も含まれます。

Q37 園内研修を実施するうえでの課題はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 日程の調整が困難である | 2. 時間の確保が困難である |
| 3. 代替職員の確保が困難である | 4. 必要経費の確保が困難である |
| 5. 講師の選定、確保が困難である | 6. 研修内容のニーズが多岐にわたる |
| 7. 研修への意欲が保育者によって異なる | 8. 保育者間で教育・保育観が異なる |
| 9. 保育者の職務経験年数の差が大きい | 10. 研修の成果を実感しにくい |
| 11. その他 () | |

Q38 園内研修を充実するために、体制や方法、内容面で工夫していることがありましたら、() 内になるべく具体的にお書きください。

()

Q39 園内研修の充実に向けて、行政に対して次にあげる要望はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 園内研修の手引き（計画の立て方、進め方、検証方法等）がほしい
2. 他の認定こども園で行っている園内研修の取り組みや工夫をまとめた事例集がほしい
3. 園内研修のノウハウや情報を、他の認定こども園と共有できる場や機会がほしい
4. 外部講師の紹介や派遣をしてほしい
5. 指導主事を派遣してほしい
6. 保育者の養成機関と、より連携しやすい体制を充実させてほしい
7. 地域の専門機関（保健所や小学校等）や専門家（小児科医や特別支援に関する専門家等）と、より連携しやすい体制を充実させてほしい
8. 必要経費（講師の招へい費用等）について財政的な支援を充実させてほしい
9. その他 ()

貴園の課題、認定こども園の保育者の資質等について、おたずねします。

Q40 貴園の保育実践上、運営上の課題について、特に課題だと思えるものを3つまで選んで、上位から順に

内に記入してください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 保育者の資質の維持、向上 | 2. 保育（教育）内容・方法の充実 |
| 3. 保育者の確保 | 4. 予算（補助金、保育料等）の確保 |
| 5. 園のビジョンの策定 | 6. 施設・設備の充実 |
| 7. 保育者間の連携 | 8. 家庭との連携 |
| 9. 地域との連携 | 10. 保幼小の連携 |
| 11. 自己点検・自己評価の充実 | 12. 幼児教育・保育の重要性の周知 |
| 13. その他 () | |

1 番目 2 番目 3 番目

Q41 認定こども園の保育者に求められる資質とはどのようなものであるとお考えでしょうか。（ ）内になるべく具体的にお書きください。

()

Q42 貴園の保育者の資質を向上させるために必要だと思うことについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 園長・所長・施設長等、管理職のリーダーシップ | 2. 保育者の勤務条件や給与面での待遇改善 |
| 3. 保育者同士が学び合う園の組織文化 | 4. 実践記録作成等による日々の省察 |
| 5. 保育者の自己評価 | 6. <u>園内</u> 研修の回数の増加 |
| 7. <u>園内</u> 研修の内容の充実 | 8. <u>園外</u> 研修への参加回数の増加 |
| 9. <u>園外</u> 研修の内容の充実 | |
| 10. その他 () | |

質問は以上です。

多岐にわたる質問にご回答いただき、誠にありがとうございました。